

図書館通信

9月のイベント

状況により変更・中止する場合は、ホームページやtwitterで随時お知らせします。

●おでかけ図書館 in 道の駅

期間：9月16日（土）10:00～14:00
 場所：道の駅サシバの里いちかい
 まちおこしセンター内・会議研修室
 内容：市貝図書館からの移動図書館です。
 「たのしい本」をテーマに50冊程度展示します。
 当日利用者カードをお持ちの方はその場で貸出もできます。本を借りた方に「いっと紙幣」を1枚差しあげます。ぜひお越しください。

●ダンボの会のおはなし会

日時：9月24日（日）10:30～（50分程度）
 内容：ボランティアによる乳幼児～小学校低学年向けのおはなし会です。

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380



市貝図書館のイベントに参加してもらえ
 「いっと紙幣」を集めると……

- 5・10・15枚…缶バッジ
- 20枚……いっとくんシール
- 50枚……いっとくんオリジナルグッズ4点セット
- 100枚 …いっとくんオリジナルトートバッグ

好きな景品と交換できるよ。
 ぜひチャレンジしてね！



★歴史民俗資料館のイベント

第51回企画展・県立博物館共催展「たのしい鉱物教室」
 期間：9月24日（日）まで ※休館日は図書館に同じ
 内容：鉱物や鉱物から作られる宝石について分かりやすく紹介します。お好きな石はあるでしょうか？
 お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

図書館カレンダー

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31※				

…休館日 ※月末資料整理日

市貝町立図書館

〒321-3423
 栃木県芳賀郡市貝町市塙147
 Tel 0285-68-4380
 URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム
 ページは
 こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

ツイッターでも
 情報配信中！

市貝町立図書館
 『いっとくん』
 @ittokun_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★
 9月から通常の開館時間となります



★連絡先メールアドレス
 について★

図書館からの連絡先にGメールを登録されていた方への送受信不具合が解消され、通常どおりお使いいただけるようになりました。長期間ご不便をおかけいたしました。



★芥川賞・直木賞★

7月19日、第169回芥川賞・直木賞（2023年上半期）が決定しました。受賞作・候補作ともにぜひ読んでみてください。
 貸出中の場合は予約サービスをご利用ください。

★芥川賞★

「ハンチバック」

市川 沙央 // 著（文藝春秋）

★直木賞★

「極楽征夷大将軍」

垣根 涼介 // 著（文藝春秋）

「木挽町のあだ討ち」

永井 紗耶子 // 著（新潮社）

★しょうちゃんと遊びま専科「ゴム鉄砲を作って遊ぼう！」 の参加者を募集します★



当館顧問「しょうちゃん」
と工作を楽しみます。ご希望
の方はお申込みの上ご参加く
ださい。

日時：10月1日（日）14:00～ ※要申込
場所：2階 企画研修室
対象：小学生まで ※小3までは保護者同伴
定員：15名
受付：9月1日（金）～ ※定員になり次第終了
申込：カウンター・お電話



今月のスタッフおすすめ本

一般書

「夜空に浮かぶ欠けた月たち」

窪 美澄 // 著
(KADOKAWA)

東京の片隅、小さな二階建ての一軒家。
旬先生とさおり先生ご夫妻が営む「楠木メンタルクリニック」には、今日も様々な心の悩みを抱えた人達が訪れます。この物語に出てくる人たちの息苦しさ生きづらさは、今の私達を投影しているかの様で、とても切なく苦しいものばかりです。そんな彼らを旬先生とさおり先生が微かな希望に寄り添い、ゆっくりと再生へと導いていきます。本文中の言葉をお借りするのなら、「切った爪の様な細い月が空に光っている。その微かな光に照らされながら…」です。

心が大きく揺らいだり、心がへとへとに疲れてどうしようもなくなる事は、誰にでも起こりうる事です。そんな時に私達は一旦止まって休み休み進んでも誰かに頼っても良いと。そして、私達はきっと誰かの心にそっと寄り添い支え合えるとこの本は語っています。

この夏、心も体も頑張ってきた皆さん、この本を傍らに、誰かを思ってゆっくりと月を眺めてみてはいかがでしょうか。
(スタッフ：ぴっぴ日和)

児童書（高学年向け）

「だれのせい？」

ダビデ・カリ // 作
レジーナ・ルック・トゥーンペレ // 絵
(green seed books)

森に住むクマの兵士は誇り高い戦士。
自分の剣の切れ味を試してみたくて、手当たり次第、森中の木を切っていました。そんなある日、上流のダムから水があふれ、自分の砦が壊れてしまいました。オレ様の砦を壊したのはだれだ?!犯人さがしをする中で、思いがけない真実に辿り着くお話。

読み聞かせにもおすすめです。
(スタッフ：チョコ丸)

YA（中高生向け）

「ふせごう！ デジタル近視」

北明 大洲 // 監修
(旬報社)

スマホ・タブレット・パソコンなどのデジタル機器を日常的に使うようになってから、幼稚園生～高校生の「近視」が増えているそうです。近い距離で画面を見る、暗い場所で使う、寝転んで片目で見ると、長時間ダラダラ見続ける…など、ついすっかりやりがちですが、一度近視になると元には戻りません。「近視とは何か」を含め、目について学んでみませんか？
(スタッフ：ちょこわんこ)



7月の暑いある日、市貝町文谷地区にある中峰山梅寿院光賢寺（浄土真宗）を訪れました。というのも、図書館にある郷土資料から松尾芭蕉の石碑があると知ったからです。本町にもそんな石碑があるのかと行ってみると、住職さんがいろいろと案内をしてくれました。本堂にある阿彌陀如来ご本尊から小泉廣鶴の掛け軸、江戸時代慶應年間に造られた彫刻や襷絵など丁寧に説明してくれました。松尾芭蕉の句碑は本堂の手前の植え込みの中にあり、「志ばらくは 花のうへなる 月夜哉」という句でした。大正10年5月1日、当時下野の俳句の草分けであった小峰蔦彦氏ほか19名の名前が羅列されており、俳句仲間の記念碑として建立されたものと話してくれました。この句には、二つの異なる季語が用いられています。「花（桜）」は見られる季節が春だけに対し、「月夜」は秋の季語とはいえ、年中見ることができ、花の方が印象に強い句となっています。芭蕉の句集で調べてみると、「満開の桜だ。そして、その上に月が上がった。しばらくは月下の花見ができそうだなあ。暗闇の中、月の光を一身に浴び生き生きと輝いている夜が来るということは、再び朝がやって来るということ。ささやかなひと時は、なんとも儂いもの…」という、わび・さびの世界を表現しているようです。ぜひ、一度立ち寄ってみてください。